

いたくら 議会だより

今月の 主な内容

- ◆3月定例会 平成24年度予算 …… 2 P
- ◆予算質疑 …… 3 P
- ◆一般質問 …… 6 P
- ◆可決議案 …… 10 P
- ◆議会日誌・表彰など …… 11 P
- ◆町政へ一言 …… 12 P

2012 5 / 1

第121号



4 / 10 頼母子のシダレザクラ
いち早い春の訪れを知らせます

平成24年度予算（総額91億0,201万円）を可決しました



平成24年第1回定例会が3月6日から16日まで11日間の会期で開かれました。この定例会は、平成24年度一般会計及び特別会計の予算審議が主なものですが、条例の一部改正などを含む28議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

また、この他に町選挙管理委員及び補充員の選挙、1件の陳情について審議されました。また、定例会での予算質疑及び一般質問の主な内容についてお伝えします。

平成24年度予算

会計区分	本年度	前年度	
一般会計	51億4,800万円	55億1,100万円	
特別会計	後期高齢者医療	1億3,619万円	1億2,150万円
	国民健康保険	20億0,561万円	20億2,938万円
	介護保険	11億1,717万円	10億5,169万円
	下水道事業	1億9,087万円	1億8,870万円
水道事業(※)	5億0,417万円	4億9,180万円	
合計	91億0,201万円	93億9,407万円	

※収益的支出及び資本的支出の合計額

一般会計51億4,800万円

支出の主な内容

- 総務費 6億6,376万円
 - ①町長、町議会議員補欠等の選挙 ②情報提供システム整備事業 ③産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業 ④庁舎建設準備(調査)事業 ⑤住宅用太陽光発電システム設置補助事業
- 民生費 16億0,532万2千円
 - ①子どものための手当支給事業 ②児童福祉施設整備調査研究事業 ③自殺対策緊急強化事業
- 衛生費 5億1,059万5千円
 - ①予防接種事業 ②がん健診推進事業 ③子宮頸がん等ワクチン接種事業
- 農林水産業費 1億8,860万3千円
- 農政業務システム(農地地図)整備事業 ②小規模土地改良事業前原地区 ③加工米対策事業
- 商工費 6,968万7千円
 - ①企業立地促進事業 ②群馬の水郷管理事業
- 土木費 6億6,109万8千円
 - ①八間樋橋整備事業 ②町単独道路整備事業 ③木造住宅耐震改修促進事業
- 消防費 2億8,158万3千円
 - ①館林地区消防組合負担金 ②防災対策事業
- 教育費 5億7,055万8千円
 - ①南小・北小受水槽・高架水槽改修事業 ②渡良瀬グラウンド整備事業

【予算質疑】

議会最終日の3月16日(金)に
新年度予算について活発な質
疑が行われました。



24年度予算の使い道
道路整備、芸術文化、
福祉、教育などに
ついて幅広く
質問をしました。

何路線を整備するのか
未着工の陳情路線は

Q 今村議員

町民の関心の高い道路整備
について、町単独道路整備事
業では今年度で何路線を整備
するのか。また未着工の陳情
路線はどのくらいあるのかを
伺いたい。あわせて、陳情路
線で未着工路線があるが、整
備を行うための優先順位を決
める基準についても伺いた
い。また小規模土地改良事業
でも同じように農道整備が行
われるが、その優先順位はど
のように決めたのか伺いたい。

A 都市建設課長

24年度の整備路線は、12路
線で、地区別では北地区が6
路線、東地区では2路線、南
地区では3路線、西地区では
3路線を計画しています。ま
た、未着工路線は75路線あり、
地区別では北地区が40路線、
東地区が11路線、南地区が16
路線、西地区が8路線です。
優先順位を決める基準につい
ては、議会所管の常任委員会
の中でランク付けをしていた
だいています。さらに、道路
用地などの寄附状況を考慮し
ながら整備計画を構築してい

ます。

A 産業振興課長

産業振興課所管の道路、水
路関係については、町単独事
業では実施しておりません。
現場状況にあわせて、小規模
土地改良等の補助事業の対象
となるなかで農道や水路整備
を実施しています。陳情関係
ですが、38件が未着工となっ
ています。その内訳として、
水路を含む農道が23件、水路
単独が15件になります。地区
別では、北地区が8件、東地
区が5件、南地区が18件、西
地区が7件となっています。

講師派遣委託料は
どのように使われている

Q 黒野議員

芸術文化振興事業で、講師
派遣委託料110万円が計上
されているがどのように利用
されているのか、説明いた
きたい。

A 教育委員会事務局長

町民教養講座で依頼してい
る講師委託料になっていま
す。過去3年間の費用をあげ
ると、東原英夫さんが95万
円、毒蝮三太夫さんが約63万

円、由美かおるさんが約10
2万円となっています。講師
によって委託料の差があるた
め、110万円の予算を計上
しています。

群馬の水郷管理事業
業務委託の内容は

Q 延山議員

群馬の水郷管理事業につい
て伺います。水郷管理業務の
なかに、アジサイのせん定・
除草作業なども予定されてい
るが、今後、群馬の水郷管理
はどのように行っていくか。

A 産業振興課長

群馬の水郷管理業務につい
ては、公園の清掃及び管理も
含め管理人1名分として、邑
楽漁業協同組合へ委託してい
ます。また別に水郷公園内に
アジサイ400本程度の植栽
を計画し、そのせん定及び除
草作業を含めた委託を予定し
ています。





▲老朽化対策に向けて調査研究

**任意のワクチン接種
受診率を上げる方法は**

Q 秋山議員

子宮頸がん等ワクチン接種事業について、任意によるワクチン接種と聞いています。多くの方に受診していただくには啓発が大事ですが、どのように進めていくのか。該当する対象者はどれくらいいるのかを伺いたい。

A 健康介護課長

子宮頸がんワクチン接種につきましても、最終判断が任意接種となっておりますが、該当する方へは個別通知なども行い、きちんと説明してまいります。またPRについても政府広報や新聞報道などで広く周知が図られていると考えてい

ます。町内の対象者ですが、中学1年生から高校2年生までが該当となり281人を見込んでいます。

**児童福祉施設整備
調査研究事業について**

Q 荒井議員

児童福祉施設整備調査研究事業について、調査研究とあるがどういったことを行っていくのか伺いたい。

A 福祉課長

板倉保育園及び北保育園の園舎の関係で、建築年数が40年以上経過し老朽化が激しくなってきました。そのため、福祉課でこのまま継続していくのか、民営化がいいのかなど、統廃合も視野に入れて多

岐にわたり調査研究をしていくという内容です。

**滞納税の回収率アップに
どのような対策を**

Q 市川議員

町民税、固定資産税、国保税なども含めて納税の滞納を伺います。年々、滞納の回収率もアップしているようですが、まだまだ回収率は上げられるのではないかと思っております。滞納整理の取り組み方を説明してください。

A 戸籍税務課長

税の滞納整理については、貴重な自主財源の確保と税の公平性の観点から毅然と厳粛に取り組まなければいけないという認識のもとで戸籍税務課が一丸となって努力してまいります。日本経済の低迷するなかで、厳しい納税状況にあるのが現実かなと感じています。さらに滞納整理に努めていきたいと思っております。

**老人クラブの活動が大事
どれくらい会員がいるの**

Q 荻野議員

老人クラブ等地域活動推進

について、以前は行政区に必ず一つはあったが、年々少なくなってきたと聞いています。こんな時代には老人会活動が大事になってくるのではないかと思うが、現在どれくらいの団体と会員数があるのか。

A 福祉課長

老人クラブは、現在町内に20クラブあります。行政区によつては、60歳から加入できるクラブもあります。会員数ですが、全体で1,131名が所属しています。

**中学校体育で柔道の授業
どのような指導を**

Q 川野辺議員

中学校で24年度から柔道を授業に取り入れるということを行いました。生徒が怪我を絶対に起こしてはならないことなので、先生に対しての指導や注意点などを分かる範囲で伺いたい。

A 教育長

新学習指導要領のなかで、武道が取り入れられました。板倉中学校では柔道が行われます。体育教員が県や教育セ

ンターで行われた指導者研修会へ参加していますので、心配ないだろうと思っております。武道にとれる時間も少ないので、礼儀や受け身などの基本的な指導が中心になると思っております。

A 町長

柔道で危険な技は、うしろに倒れる技とされている。大外刈りなどは、技をかけそのままうしろに倒れるので、脳挫傷や脊椎損傷、頸椎損傷など致命的な怪我につながる危険性の高い技とされている。そのため、県柔道連盟でも危険性の高い技を禁止技として、体育の授業で教える技を絞り込んでいる。



▲柔道の立ち技を代表する大外刈り(左)、内股(右)

◆平成24年度予算質疑ほか

後期高齢者療養給付費負担金について説明を

Q 青木議員

後期高齢者療養給付費負担金の約1億1千万円というのは、県から各自治体の高齢者の人数割合などで積算されて負担額が決まってくるのだと思うが具体的に説明してほしい。またその負担金もどこへ支払っているのかも説明してほしい。

A 健康介護課長

後期高齢者療養給付費負担金の約1億1千万円は、板倉町負担分です。群馬県後期高齢者広域連合へ負担金は支払われず。そちらの広域連合が推計した当町の75歳以上高齢者の年間の療養給付費医療費が約13億6千万円になります。その12分の1に当たる1億1千万円が町負担額になります。

Q

小森谷議員

中期事業推進計画が打ち出されました。事務事業評価等を踏まえて、予算編成過程に

事務事業評価など
予算に反映された成果は

至るまでの経緯が従来よりも透明感が出てきたように感じられます。24年度の予算編成において、事務事業評価や事業仕分け、事業評価シートなどで出された反省点や改良点があつて予算が編成されたものだと思う。それらが予算に反映されてきた運用過程や成果を伺いたい。

A 町長

運用過程の評価についてはここ2、3年積極的に事業そのものの点検をしている。事業が必要か必要でないか、縦割り行政のなかで横断的に事業が展開できないかなど、一番効率良く効果が上がるものを判断材料として取り入れたいと考えており、全体的にみれば、前進していると感じている。24年度の予算全体をみると、人件費が相当の部分を占めている。公務員の人件費については、法律で守られているが、適正に人件費が支払われているのかどうか、ずっと疑問を持ちながらきている。能力が高く仕事を的確にやる人とそうでない人との賃金格差の問題など、人的評価の難しさを感じているがそこを目を向けていこうと考えて

24年度予算

◆平成24年度板倉町一般会計予算について (全会一致)

◆平成24年度板倉町後期高齢者医療特別会計予算について (全会一致)

◆平成24年度板倉町国民健康保険特別会計予算について (全会一致)

◆平成24年度板倉町介護保険特別会計予算について (賛成多数)

◆平成24年度板倉町下水道事業特別会計予算について (全会一致)

◆平成24年度板倉町水道事業会計予算について (全会一致)

◆議案の訂正について (板倉町介護保険条例の一部改正についての一部訂正)

介護保険料改定については、高齢者福祉計画策定懇談会から答申があり、極力低額になるよう保険料上昇抑制に関する意見が多く寄せられました。また議員間の議論の中でも、被保険者の経済的負担の軽減を図るため、介護保険基金を活用すべきとの意見も出されました。その結果、保険料の抑制を図るため介護保険基金をさらに活用し、月額4,700円を基準とする介護保険料年額を月額4,500円を基準とする年額に訂正されました。

板倉町介護保険関係に伴う討論要旨

◆板倉町介護保険条例の一部改正及び介護保険特別会計予算に伴い、反対・賛成それぞれの立場から討論が行われました。討論内容の要旨は次のとおりです。

▼議案第2号板倉町介護保険条例の一部改正について

【反対討論要旨・青木秀夫議員】

詳しい説明もない大幅な介護保険料の引き上げ(案)、消費税や電力料金の引き上げも見込まれている現在である。当面は、基金等を取り崩してその結果によって、検討しても間に合うと思うので反対したい。

【賛成討論要旨・小森谷幸雄議員】

介護保険料の改定について、賛成したい。その理由は、町の高齢化率が25%を超えてくるということ、介護報酬等の見直しの検討がされていること。執行部から提案のあった4,700円への値上げに対して、少しでも値上げ幅を小さくすべきとのことで議員協議会等で議論を重ねたうえで4,500円へ改定ということ。さらに4,500円は、1市5町の中でも最低の水準であることから賛成したい。

【反対討論要旨・市川初江議員】

65歳以上の方は、自動的に介護保険は引かれる仕組

みが導入されている。年金の中から3,500円から4,500円に上がることは、国会でも消費税も上げる議論をされているなかで大変だと思う。基金を取り崩してからでも遅くはないので、反対したい。

▼議案第25号板倉町介護保険特別会計予算について

【反対討論要旨・青木秀夫議員】

年間支払い分(介護保険給付費)に相当する現金・基金を保有する介護保険会計である。当面、基金等を取り崩してやり繰りすれば、介護保険料の引き上げは先延ばしできると思うので反対したい。

【賛成討論要旨・延山宗一議員】

介護保険条例の一部改正のなかでも、金額の改定については数多く議論され先ほど承認された。しっかりと町民に周知してもらえるような方向のなかで、賛成したい。

※なお、討論内容の詳細は町ホームページ掲載の会議録でご確認ください。

一般質問

議会 2日目
3月7日(水)

①青木 秀夫 議員

「介護保険料」の突然の大幅値上げ
「知らしむべからず」的行政手法に問題は？



議会不要論を弱めるには、
執行部の協力が

問・町（執行機関）と議会の関係は、車の両輪に例えられている。しかし、両輪といっても実態はとすれば、民主主義・情報公開の時代にあっても両者は大型トラックと自転車のアンバランスな情報量、関係で有効に機能していないと思う。執行機関の「知らしむべし、知らしむべからず」の住民統治方式が情報公開時代の今日でも脈々と受け継がれているようである。その情報不足が議会は執行機関の同意、追認機関、

さらに議会不要論にまでつながっているのではないだろうか。「知らしむべし、知らしむべからず」の典型的な事例として、介護保険料の大幅引き上げ案が3月議会直前に詳細な説明もなく示された。65歳以上の被保険者一人当たり平均約1万5千円、夫婦で3万円の値上げ案であるから、負担者に時間をかけた丁寧な説明が必要であったのではないかと思う。ごみ袋の有料化、無料化が首長選挙の争点になっている時代である。町長の議員時代の経験も踏まえて、行政の議会への取り組み方はどうあるべきかを伺いたい。

答・町長 私も民間から町長という特別職公務員に一

時期なっているが、まさに指摘の通り、いわゆる「知らしむべし、知らしむべからず」的体質はあると感じている。私は執行部・事務方のトップとして身内を批判するつもりはないが、公務員の不利なことはきかれなければならないという傾向がば言わないという傾向があることは否めない事実である。もっと出すべきものは、分かりやすく赤裸々に出して討論・話し合いをすべきであるということ、この3年間強く言ってきたので幾分かでも改善しつつあるところ、気がつかないところもある、その都度指摘していただいて赤裸々なガラス張りの行政、聞かれなければ言わ

ないという体質の排除に全力でがんばりたい。そういう状況下での議会の機能についての指摘・ありがたい機会であったと受け止めている。引き続き職員にも指導を強めていきたいと思っている。

群馬大学病院の研修医確保の推移について

問・今、病院経営の最大の問題は医師不足・医師確保であると思う。館林厚生病院への医師供給源である群大附属病院の最近の研修医確保状況と研修医の男女比率について。

答・小嶋健康介護課長 群大病院の研修医の確保状況は、平成16年度62名、17年度46名、22年度24名、23年度29名と激減している。男女比率は、22年度男性14名、女性10名、23年度男性18名、女性11名である。

医師不足下の新病院経営の見通しは

問・今、示された群大病院の研修医確保数の推移から

も医師不足の深刻さは、新病院建設後の経費負担増の心配どころではないと思う。館林厚生病院も平成17年産科、20年小児科、そして今年度整形外科の閉鎖という流れの中で、新病院建設後の病院経営の将来見通しについて伺いたい。

答・町長 病院を新築したからといっても医師不足が解消する保障はない。住民の生命や夜間の安心・安全の確保を考えると不安なところもあるが、今ある不安に対しては、病院長を核に打てる手は打っている状況である。近々、住民に安心してもらうために現状はこういう状況であるということ、を明確に知らせたいと考えている。



▲館林厚生病院の新病棟鳥瞰図

一般質問

議会 2日目
3月7日(木)

② 延山 宗一 議員

トラクター、電線の盗難に用心 町ぐるみの防犯は



盗難被害が多く発生するなか
町と警察の防犯対策は

問・農作業場や施設からトラクター、電線、モーターなどが盗まれる被害が多発している。町ぐるみの防犯対策が急務だが。

答・総務課長 警察へ夜間パトロールの強化を要請したところ、自転車や徒歩によるパトロールを実施警戒しているという。町もチャリン等の配布により注意喚起を図っている。今後、防犯支部組織の協力拡大による対応も検討していきたい。

問・町の主要道路に防犯カメラの設置は。

答・総務課長 広範囲の中で地域の限定が難しい。警察と活用については協議していきたい。

答・町長 連続する盗難は深刻な状況にある。対策を警察署長に強く要請。もし事件が発生した時は一刻も早く警察署への電話ではなく110番に通報してほしい。また不審者及び不審車両については遠慮なく連絡してほしいと強く言われた。今の犯罪者は知能犯なので自己防衛力による防犯も必要と言っている。

利便性を図るため
西側からも進入路の整備を

問・板中体育館南面駐車場の整備された。現在東からの道路を使って出入りし

ているが、西側から進入できる道路を整備し利便性の向上が図れないか。

答・都市建設課長 亥ノ子水路沿いの道路ということから道路整備を考えている。また、亥ノ子土地改良において、換地権利関係の一部が解決されていない部分があるので、整理されたのち検討していきたい。

斗合田岡里線の道路改良工事
未整備区間の工事計画は

問・斗合田岡里線の道路改良工事を進めている岩田地内の一部区間が未整備であるが、今後の区間の工事計画は。

答・都市建設課長 未整備区間480mについて境界

の確認、物件調査が終わる24年度は用地交渉を進めていく。もし契約ができない場合はその部分を除いても着手するよう町からも県へお願いしていきたい。また事業完成予定として、県道整備プランの中で2017年を最終年度として全整備を終了すると聞いている。

農家負担を軽減した基盤整備
遊休農地の有効利用は

問・平成24年度における農業施策を確立する建議書(意見)が農業委員会から提出された。農業の発展へと繋がるものとして真剣に受け止めなければならぬ。

農地の利用集積や農家負担を軽減した土地基盤整備、遊休農地の有効利用は。

答・産業振興課長 整備水準や事業規模により事業費に影響するため、工事を伴わない交換分合などが一つの方策であり、地域の実情に合わせ農家負担を軽減できる圃場整備事業を推進したい。農業者



▲遊休農地の総面積18ha、農地保全が課題

の高齢化が進み、現在18haの遊休農地がある。土地所有者に原因を調査しそれぞれの解決方法の中で対処し解消に向け取り組んでいる。

問・新規就農者や農業後継者への町独自の補助制度、意欲ある農業者への育成支援は。

答・産業振興課長 農業者の一助になる町独自の補助制度はないことから、国、県の助成事業を積極的に説明したい。今後近隣の例を調査し町独自の制度を検討していきたい。また農地を守り保全していく農業者の育成も関連機関と連携して、組織の立ち上げを促進していきたい。

一般質問

2日目
3月7日(水)
議会

③今村 好市 議員

平成24年度予算・事業を問う！ 板倉東洋大前駅に地下鉄乗り入れを



町長と議会の関係は

問・地方自治制度で一貫して言われてきた。二元代表制について町長の見解を伺いたい。

答・町長 どちらも民意を受けての立場であり、それぞれお互いが尊重しながら切磋琢磨することである。

議会で議論、提言された町民の要望が24年度予算・事業に反映されたのか

問・合併問題について町長の施政方針ではふれていなかったが、24年度において町は合併問題にどの様に取り組むのか。また合

併対策推進室の役割は。

答・町長 周りの環境を鑑みて、所信表明でふれる必要はないという判断である。我が町から積極的に取り組むべき状況になり。またそれがふさわしい状況にないという判断をしている。

今の時点では、合併対策推進室の役目というのは一応一区切りついて小康状態と言ってもいいだろうと思っている。

防災に対する24年度対応は

問・町の防災計画見直しは。

答・総務課長 本年度は620万円弱の予算を計上し防災計画の見直し、ハザードマップの作成配布を考えている。

問・防災無線の整備、避難場

所の整備は。

答・総務課長 防災無線は引き続き検討していきたい。今年度はエリアメーラの整備、広報車の音量の大きいスピーカーの整備を行いたい。避難場所の整備については24年度予算には計上されていないが総合的に検討していきたい。

企業、商業の誘致は

問・企業商業の誘致について24年度はどのように進めるのか。誘致企業等に優遇措置が実施されているが引き続き行うのか。

答・産業振興課長 24年度も積極的に県企業局と協議しながら進めていきたい。優遇措置も引き続き予算計上して実施していく。

八間樋橋の整備事業は



▲荒廃しつつある柳山を調査

問・八間樋橋整備事業の24年度予算、事業内容、また県事業で実施する橋と取り付け道路の事業内容は。

答・都市建設課長 八間樋橋整備事業の24年度予算は2億円を計上している。1億円が用地買収と物件の補償。また1億円が工事費になると思う。県の事業については主に橋を中心に実施していただく予定となっており、予算、事業内容については現時点では分かっている状況です。

重要文化的景観の活用は

問・重要文化的景観を生かした24年度事業と景観の動態保存は。



▲駅まで地下鉄乗り入れを

板倉東洋大前駅に地下鉄乗り入れを

答・教育委員会事務局 24年度も引き続き川田の保全是小学生と守る会が中心となり耕作を行う。また柳山が大変荒廃しているので、国の補助金で調査を行う予定である。

問・板倉東洋大前駅は平成9年に開業しその後地下鉄半蔵門線が南栗橋まで上り54本下り52本が乗り入れている。ぜひその地下鉄を朝夕数本でも乗り入れ実現のため、関係機関と協力し積極的な要望活動をしたい。

答・町長 ご指摘のようにまず関係機関と協力し積極的な要望を行っていききたい。今年のうちにも陳情活動を行いたい。

一般質問

議会 2日目
3月7日(水)

④ 黒野 一郎 議員

町指定の巨樹、巨木の天然記念物の管理と 中央公民館北の橋の工事の状況は



町内の2か所の
農地防災遊水池について

問・23年3月に質問した北地区仲伊谷田遊水池の周りに虫が異常発生したが、その後の調査対策を含めて、報告をうけていないが伺いたい。

答・産業振興課長 黒い蚊のような虫が大量に発生した。その後、調査をしたところ、当時運転をしていなかったために水が溜まった状態であった。それが原因で発生した可能性があると考えられる。それ以降については、基本的には水を全部かき出している。今後、大箇野

◆一般質問

遊水池、仲伊谷田遊水池については、町が管理していくので、地域住民の意見を伺って、適正に維持保全に努めていきたいと考えている。

町から指定されている
巨樹・巨木について

問・町教育委員会が指定している巨樹・巨木や天然記念物は、何か所で何本位あるのかを伺いたい。

答・教育委員会事務局長 平成17年に選定したのは52本であったが、現在は木を切ったこともあり49本となっている。この中で、町指定の天然記念物は2本で、除川前の二本木と海老瀬頼母子にあるシダレザクラが含まれている。

問・指定されている巨樹・巨木、天然記念物の二本木、シダレザクラの年間の管理の予算等を伺いたい。

答・指定されている巨樹・巨木、天然記念物の二本木、シダレザクラの年間の管理の予算等を伺いたい。

問・教育委員会事務局長 予算については、所有者の分かっているものは1万円

の補助があり、所有者がいない場合は特別に予算はついていないが、教育委員会で定期的な巡回を行っている中で、木の状態を見て判断をしてその都度適正に管理している。

中学校プール及び
海洋センタープールについて

問・板倉中学校のプールは、今は使用していない。今後はどのような考えか伺いたい。

答・教育委員会事務局長 中学校プールは、昭和48年8月に完成して以来、使用してきたが、傷みが大変激しくなったために平成21年から使用していない。今後の対応としては、そう遠くない時期に取り壊して、グラウンドの整備も含めて活用していきたい。

問・板倉中学校プールは、平成21年から使用していないので、中学生は、現在

体育授業で海洋センタープールを使用している。昨今、不審者も出ると聞いているので、プールの周りを含めた環境、安全性を考えてのプール使用について伺いたい。

答・教育長 海洋センターのプールは周りによらずで対応している部分がある。不審者の関係は、中学生が使用する時は、昼間ということでは使用していない。先生方の監視等を含めて対応していきたい。

中学校南面整備及び
橋梁工事について

問・中学校体育館改修工事も完了したが、南面の整備と中央公民館の北の橋の工事について伺いたい。

答・都市建設課長 南面の整備工事の進捗状況ですが、亥ノ子排水路にボックスカルバートを設置して、転落防止柵、ガードレール設置、それから側溝や排水柵の敷設を現在計画している。また水路の部分とあわせて、水路付近の30m間の道路整備の関係も計画している。現在工場等各部品、製品の製作をしており、その後、完成を待つて橋梁工事を行い、3月末位に完成すると考えている。また板中野球グラウンドの南側からの進入路の道路、駐車場の周りの整備については、平成24年度上期に完成できると考えている。



人事案件

◆板倉町選挙管理委員及び補充員の選挙

町の選挙管理委員、同補充員が3月17日任期満了となるため、選挙管理委員会から選挙を求められ、議会の指名推薦により、次の方々を当選人としました。

◎選挙管理委員（敬称略）

- 菅井 弘 除川
- 齋藤 壽男 大高嶋
- 飯田 勝美 海老瀬
- 松島 嘉市 大高嶋

◎同補充員（敬称略）

- ①武政 政雄 海老瀬
 - ②大橋 登 板倉
 - ③大出 彰 大曲
 - ④川野辺純一 岩田
- ※丸数字は順位

議員発議

◆板倉町の中期事業推進計画を議会の議決事件として定める条例の制定について

（要旨）

昨年5月の地方自治法の改正により、地方自治体の総合計画の基本構想策定の義務づけが撤廃されたことを受けまして、計画そのものの議会の議決がなくなりましたが、町

議会として、町が策定している新しい総合計画とも言える板倉町中期事業推進計画が、町の将来の根幹となる計画であることから、この計画を議会で十分に審議し、議会としての責任を果たすべく、議会の議決事件として定める条例を制定するものです。

意見書

◆医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書の提出について

標記の意見書を地方自治法第99条に基づき、政府関係機関へ提出しました。

（要旨）

1月30日に群馬県議会議長と県内市町村議会議長の交流会が開催された折、県議会議長から提案されたものでありまして、全会一致で提出することになったものです。

内容としては、現在、群馬県内の全市町村が実施している福祉医療の助成制度が、中学校卒業までの子どもに対する医療費無料化が主なものです。国はこの部分について国民健康保険の国庫負担金の減額措置をとるとしています。

群馬県では、「子どもを育てるなら群馬県」という思いで、全市町村がこの制度を理解して実施しております。現在、現社会の少子化対策や子育て環境の充実に大きな役割を果たしている制度ですので、板倉町議会としても、国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書を提出するものです。

条例

◆板倉町税条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町介護保険条例の一部改正について

（賛成多数）

◆板倉町農業災害対策特別措置条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町小口資金融資促進条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町道路占用料徴収条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町町営住宅管理条例の一部改正について

（全会一致）

◆板倉町下水道事業施設の設置に関する条例の一部改正について

（全会一致）

補正・その他

◆平成23年度板倉町一般会計補正予算（第6号）について

（全会一致）

◆平成23年度板倉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

（全会一致）

◆平成23年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

（全会一致）

◆平成23年度板倉町介護保険特別会計補正予算（第4号）について

（全会一致）

◆平成23年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

（全会一致）

◆平成23年度板倉町水道事業会計補正予算（第3号）について

（全会一致）

◆第1次板倉町中期事業推進計画について

（全会一致）

◆板倉町総合老人福祉センターの指定管理者の指定について

（全会一致）

◆板倉町デイサービスセンターの指定管理者の指定について

（全会一致）

◆板倉町障害者生産活動センターの指定管理者の指定について

（全会一致）

◆板倉町障害者デイサービスセンターの指定管理者の指定について

（全会一致）

◆町道路線の廃止について

（全会一致）

◆町道路線の認定について

（全会一致）

陳情

◆町道3168号線拡幅整備についての陳情

陳情者 第12行政区
区長 小野久雄

結果 採択

要旨 道路延長が約80mと短いことや周辺の道路が整備されていないこと。道路幅が狭く、緊急車両が通れないこと、さらに道路が低く大雨の際には冠水してしまうことなどを考慮すると、この道路を拡幅整備することで、周辺道路にも波及効果も見込めることから全会一致で採択となりました。



議 会 日 誌

◆2月

- 1日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 6日 渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会（群馬県要望）
邑楽郡町村議会議長会臨時会及び行政懇談会
- 9日 議員協議会／議会改革特別委員会／立志式
- 14日 邑楽郡町村議会議長会 議会議員研修会
- 15日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会
- 17～18日 板倉町商工会役員・各副部会長視察研修会
- 20日 季楽里管理運営委員会
- 21日 議会改革（作業部会）／議員協議会（2月）
- 22日 群馬県議長会 定期総会
- 28日 福島県石川町議会視察研修のため来町
- 29日 議会運営委員会

◆3月

- 1日 板倉高校卒業式 / 群馬県知事との懇談会
- 4日 板倉町弓道場竣工式
- 6～16日 3月定例会（本会議、一般質問、各常任委員会、
所管事務調査）、議員協議会、議会広報特別委員会
議会改革特別委員会
- 13日 板倉中学校卒業式
- 23日 町内小学校卒業式
- 26日 郡議長会総会
- 29日 議会改革（作業部会）
- 31日 大泉町発足55周年記念式典

◆4月

- 1日 板倉消防団辞令交付式
- 5日 板倉・北保育園入園式 / 郡議長会臨時会
- 9日 町内小学校・板倉中学校入学式
- 17日 議会広報特別委員会
- 20日 議会改革（作業部会）／議員協議会（4月）
- 23日 板倉町更正保護女性会総会／板倉まつり運営委員会
- 27日 議会改革特別委員会

◆議会改革への取り組みが始まる！

板倉町議会では、町議会議員選挙後の平成23年6月から議会改革特別委員会が設置され、議会改革に向けて取り組んでいます。

▼これまでの取り組み状況

- ・平成23年4月
町議会議員選挙で12名当選
- ※現在は、1名欠員
- ・平成23年5月
初議会、議会構成
- ・平成23年6月
議会改革特別委員会設置（議
会改革特別委員会も含む）
- ・平成23年7月
産業建設生活常任委員会で
議会改革先進地を視察研修
（富山県小矢部市議会）
- ・平成23年8月
総務文教福祉常任委員会で
議会改革先進地を視察研修
（京都府亀岡市議会）
- ・平成23年10月
議会改革視察研修報告会

▼改選前の議会改革の状況

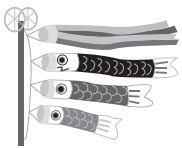
- ・平成24年2月
第1回議会改革特別委員会
の開催、委員会内に作業部
会の設置、作業部会（月2
回）、委員会（月1回）
- ・現在、協議検討中
- ・議員定数削減状況
昭和30年2月～30人
昭和34年5月～26人
昭和46年5月～22人
昭和62年5月～20人

- 平成15年5月～18人
- 平成19年5月～14人
- 平成23年5月～12人

・議会運営の活性化として

平成14年～議会一般質問で
の一問一答方式の導入
平成19年度～町ホームページ
へ定例会日程、一般質問
の内容公開や議会議録の
掲載、定例会本会議初日及
び最終日を収録映像として
ケーブルテレビでの放映
※平成25年3月定例会へ議会
基本条例の提案を目指し、取
り組んでいます。

「鯉のぼり」が泳いでない!? 議長 野中嘉之



議長室エッセイ

屋根より高い 鯉のぼり…
おもしろそうに 泳いでる

この「鯉のぼり」は端午の節句に飾られる鯉のぼりを題材とした日本の童謡として歌われています。そして、男の子の出世を願って、庭先に上り棒を立て、鯉に模した吹き流しを飾ったものです。その鯉のぼりの泳ぐ光景が見えなくなった。（稀に見る）一昔前は、どこの家でも男の子が生まれると鯉のぼりを飾ったものです。いや今も飾っているとすると、生まれる子どもが極端に減少したということです。この4月、北小に入学した新1年生は、8名（男の子4名、女の子4名）といった状況です。私が入学した頃からしばらくは、1学年100名前後でしたから、今は10分の1にも満たないことになります。このままいくと、まったく「鯉のぼり」が見られなくなってしまうかも…。北の台地は、約400年余り洪水もなく安全安心な地域であり、板倉の軽井沢？ というくらい環境もいいが、何としても、町内に働く場の確保（企業誘致等）を図り、若者が安心して結婚・子育てできる環境づくりが急務（そう簡単ではないが…）あちこちの家で「鯉のぼり」が泳ぐ光景を夢みて。

県町村議会議長会表彰



議員在職10年以上の一般表彰基準で「群馬県町村議会議長会自治功労者表彰」を青木秀夫議員が受賞されました。今後とも町政発展のため、なお一層の活躍をご期待いたします。

片

田先生の水防災講習会に参加して

自然現象には歯止めは出来ない

泉野 佐藤仁士さん



講習会で学びました。生死を分けたのは「自然現象には勝てない」ことを認識し早期に避難した方が助かったことを知りました。

昨年の大震災で多くの方が亡くなられました。ある地域では防災マップと防潮堤等を過信し避難対応が遅れ犠牲者を多くさせてしまったことを

再検討、そして地域による避難困難者の把握とサポートの体制について、特に車避難の危険性の周知等、災害時を想定した整備の再検討をお願いします。

最後に、安全で安心して住める環境の町板倉が子ども、そして孫へと引き継がれることを願っております。

迫

りくる自然災害

防災行政無線の設置を

大字下五箇 川田則行さん



東日本大震災より1年が経過しても、未だ復興の道筋は遠く険しいのが現実です。それに加え、東京直下型地震や南海トラフ地震など、可能性

を示唆する報道。先日は爆弾低気圧と言える自然の猛威が日本列島を襲いかかりました。板倉町においても豪雨による堤防決壊の危険性が叫ばれています。先日参加しました防災対策セミナーにおいて、明和町付近の堤防決壊というシミュレーションを実施。決壊と同時に連絡し避難すると

いう設定のなか、自動車による避難は渋滞するため禁止。私の地域の避難場所には徒歩でなんとか無事に避難ができましたが、背後には濁流が迫るといふ現実を突きつけられました。高額な整備費負担を思いますが、情報伝達方法として防災行政無線の設置をお願いできればと思います。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます
“議会傍聴”



議会の本会議は公開制となっています。本会議当日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会は6月6日(水)からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、役場議会事務局下記までお気軽にお電話ください。

問合せ ☎ 82-1111 内線 511

編集後記

新たな出会いが始まるこの季節、職場や社会に出ると良好な人間関係をつくる事が大切となります。好きな人「馬が合う」人、性格の合う人のみ選んでつき合うことはできません。人は誰でも他人のことを思いやりたり手助けをしたいという心を持っていてるものです。

人が好かれたり嫌われたりする場合は、無意識のうちにとる自己表現で判断されることが多い。態度や話し方、あるいは物事に対する行動などで決められます。言葉遣いに配慮し自分自身を見つめ、あゆみ寄る心を持つてほしいものです。お互い人間同士元氣な挨拶に心がけ、風通しの良い、いい意味でのフレンドリーな関係をつくっていきましょう。

(議会広報特別委員 延山宗一記)